

着任のご挨拶



令和6年3月25日付で揖斐警察署長に着任しました土洞哲也と申します。

住民の皆様には、平素から警察活動各般にご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。また、豊かな自然と風土に包まれた揖斐郡で仕事ができることを大変うれしく思う次第です。諸先輩方が住民の皆様と築き上げてきた管内の治安と伝統を受け継ぎ、揖斐警察署の運営を心掛けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

さて、着任にあたり揖斐警察署運営に係る所信を2点申し上げます。

1点目は、被害の発生防止に最重点を置いた活動の推進です。

交通事故、特殊詐欺、身体被害の可能性がある事案、サイバー事案等、予防と検挙を混合した活動領域がありますが、住民の皆様が望むのは、「被害に遭わないこと」にあります。警察活動全般について「被害を生じさせないためにどうすればよいか」を目的とし、発生した事案については、確実な処理と同時に再発防止を図っていききたいと思っております。

犯罪の抑止には、市民の皆様が「犯罪に遭わないよう注意する」という意識・行動と、防犯カメラの設置などの環境整備、そして警察の先制的な活動が必要です。警察としては、「今、どんな事件事故が起こっていて、それを防ぐ方法は？」を住民の皆様へ情報を提供し、身体被害の可能性がある事案や特殊詐欺被害などの予兆に対しては先制的な活動を行い、被害防止に努めたいと思っております。

2点目は、警察署員が相互に感謝やいたわりの心を持つということです。

これは内向けの話でありますし、反応していただけたとしても「警察には厳しさが必要」と言われるかもしれませんが、むしろ厳しい現場に臨む者達だからこそ、感謝やいたわりが大切だと考えております。

何故なら、警察職員は事件事故に対応する中で、人との心のやり取りを伴います。

警察職員に心の余裕がなければ、職務執行について納得を得、又は時に人の心を癒すような仕事はできないと思うからです。感謝やいたわりの心を意識していれば、現場においても謙虚さや冷静さを保持でき、ひいては住民の皆様の安全・安心を守ることに繋がります。

揖斐警察署員一丸となって住民の皆様とともに地域の治安を良くする所存でありますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。